Press Release
記者発表資料

きらっと☆とよかわっ！
愛知県 豊川市

平成 28 年 3 月 23 日

豊川市政記者クラブ加盟社　各位

豊川市人口ビジョン、豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました！

豊川市人口ビジョンの概要

本市の人口は平成２０（２００８）年をピークに減少傾向にあります。今後急速に進行する人口減少は高齢化の進行を伴い、経済規模の縮小、社会保障費の負担増加などが懸念されます。人口減少に歯止めをかけるには出生率の向上、定住の促進、転出の抑制が不可欠です。豊川市人口ビジョンでは、目指すべき方向を検討し、人口の将来見通しを示しました。

目指すべき将来の方向（ｐ８）

① 定住・交流人口の増加を図る
② 若い世代の子育て等に関する希望を実現する
③ 本市の特徴を生かし、時代にあった地域をつくる

人口の将来見通し（ｐ９）

平成７２（２０６０）年に１６万人程度の維持を目指します。

① 合計特殊出生率について

本市においては、国の少子化対策等と連携し、積極的に施策を展開することで、平成３２（２０２０）年に１．７５、平成４２（２０３０）年に１．９１、平成５２（２０４０）年に２．０７を達成すると仮定しています。

出生率	平成 25 年	平成 32 年	平成 42 年	平成 52 年
豊川市	1．64	1．75	1．91	2．07
全国平均	1．43	1．60	1．80	2．07

※全国平均は国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」による

② 社会動態について

若い世代の希望が叶うような雇用、就労環境を確保し、出産や子育て環境の充実を図ることで、社会動態が安定化（０から４４歳の純移動率のうち、マイナスとなっているものをゼロに改善）すると仮定しています。

＜人口の将来見通し＞

	平成 22 年	平成 32 年	平成 42 年	平成 52 年	平成 62 年	平成 72 年
社人研の推計	181,928	178,343	169,936	158,772	146,314	132,271
①、②をふまえた推計	181,928	179,452	174,348	168,770	162,961	156,347

TOYOKAWA

Press Release
記者発表資料

きらっと☆とよかわっ！
愛知県 豊川市

豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

将来にわたって住みよさを実感でき、活気があるまちにするため、定住・交流施策を強く意識し、第６次豊川市総合計画、および市長３期目の政策ビジョンと連動し、また国や県の総合戦略を勘案しながら、今後の基本目標や重点的に取り組む施策を定めた「豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

総合戦略の位置づけと計画期間 （ｐ１）

〇総合戦略の位置づけ・・・第６次総合計画に基づく施策のうち地方創生に資する、特に重点的に取り組む施策をとりまとめたものとして位置づけています。
〇計画期間・・・平成２７年度から平成３１年度までの５年間としています。

目指すべき将来の方向と基本目標 （ｐ2、3）

＜目指すべき将来の方向＞

① 定住・交流人口の増加を図る
② 若い世代の子育て等に関する希望を実現する
③ 本市の特徴を生かし、時代にあった地域をつくる

＜基本目標＞

① しごとづくり
② ひとの流れづくり
③ 結婚・出産・子育て環境づくり
④ 安全で快適に暮らせるまちづくり

基本目標ごとの具体的な施策 （ｐ4～11）

＜①しごとづくり＞
（１） 中小企業などへの支援
（２） 就労、人材育成支援
（３） 農業の担い手育成、経営、生産性向上の支援

＜②ひとの流れづくり＞
（１） 企業立地の推進
（２） 中心市街地の活性化
（３） 地域資源の活用推進と観光の振興

＜③結婚・出産・子育て環境づくり＞
（１） 安心して出産し、子どもが健やかに育つための支援
（２） 地域における子育て支援サービスの充実と子育てにやさしいまちづくりの推進
（３） 保育サービスの充実

＜④安全で快適に暮らせるまちづくり＞
（１） 拠点周辺への居住促進
（２） 高齢者の自立支援や就労、社会参加の促進
（３） 広域連携の推進

【お問い合わせ先】豊川市役所 企画部 企画政策課：高橋・鎌田・田辺
TEL 0533-89-2126 Eメールkikaku@city.toyokawa.lg.jp

TOYOKAWA